

## IV. 添付資料集

厚生労働科学研究費補助金  
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業  
新興・再興感染症のリスク評価と  
危機管理機能の実装のための研究  
(19HA1003)

令和元年度 総括・分担研究報告書  
(令和2年度繰越分)  
研究代表者 齋藤 智也  
令和2(2021)年 3月

行政評価編：

特に保健所・地衛研・医療機関・警察の評価を中心とする

訓練のタイプ：

目的：デモンストレーション型（←→手順検証型）

演習タイプ：実働型<sup>1</sup>（←→机上演習型）

訓練内容：機関間の連携の確認

「機関間の連携の確認」とは？：

- 機関間の連携手順を可視化すること（←訓練シナリオの作成過程である程度文書化され共有済み）
- 検疫での疑い患者の発見から隔離に至る一連の過程の”実働イメージ”を共有すること
  - 特に一連の過程に関わる関係機関とそれぞれの役割を認識すること

#### 【全体評価—訓練の設計】

- 一連の実働過程を明確にイメージできましたか？
  - 関係機関は網羅されていたか
  - 事態の進行過程（時間経過等）は現実的か
  - 連絡先と連絡手順は明示されていたか
  - 使用される法令・ガイドライン・手順書等は網羅的に明示されていたか
  - 用意すべき物品
  - 用意すべき人員
  - 関係機関の役割が認識できたか
- シナリオ
  - 現実的か
  - 訓練目的に合致しているか
  - 訓練の進行上省略する点・簡略化する点は明示されているか
- 訓練の運営
  - 訓練で確認する内容は具体化されていたか
  - （以前に同様の訓練が実施されている場合）前回の反省は共有されていたか
  - （以前に同様の訓練が実施されている場合）前回の反省は活かされていたか
  - 振り返りは行われたか
  - 訓練の成果・教訓・反省は広く共有されたか

---

<sup>1</sup> 患者搬送等の「実働」のほか、対策本部員等が通知等文書をその場で作成する「実働」もある。

## 【全体評価—訓練の実施】

- 連絡体制の評価
  - 連絡網は様々な事態に準用可能な形で準備されていたか
  - 連絡網はわかりやすく準備されていたか
  - 連絡先は網羅されていたか。漏れはなかったか
  - 連絡に遅れは生じなかったか
    - ◇ 不通、不在、不達等はなかったか
  - 適正に内容が更新されたか
- バイオセーフティ：防護衣
  - 防護服の着脱は適正に行われたか
  - 防護服は作業期間中適正に着用されていたか
- バイオセーフティ：搬送車両・搬送機材
  - 車両の防護は適切に行われたか
  - 使用後の手入れは行われたか
  - アイソレーターは適正に使用されたか
  - アイソレーターは適正に使用後回収されたか
- バイオセーフティ：医療機関
  - 院内の搬送経路は適正に設定されていたか
  - 院内の搬送スタッフは十分（人数・役割分担・練度）だったか
  - 資材は十分に準備されていたか
  - 陰圧がかかっていたか
- バイオセーフティ：検体採取
  - 三重包装が適正な手順で行われたか
  - 搬送に関して警察との連絡（経路設定）等が事前に行われていたか

良かった点・継続すべき点を列挙してください

改善すべき点を列挙してください

不安要素として思いつくことを列挙してください